

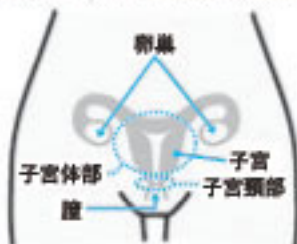
今月のテーマ 子宮がん

今年五月末に亡くなった、人気ポップスグループの女性歌手(40歳)は「子宮頸(けい)がん」と闘っていました。「がん年齢」といわれる40歳以前でも発症は珍しくありません。

早期発見をして完治するためにも、できるだけ早い時期(できれば20歳代)から、定期的な検診を受けることがなにより大切です。

*子宮がんは2種類あります

下の図のように、子宮の頸部にできるがんを子宮頸がん、子宮の体部にできるがんを子宮体がんといいます。できる場所が異なるだけでなく、原因やなりやすい年代も違います。



子宮頸がん	子宮体がん
30~40歳代の発生率が高い。初期は自覚症状がほとんどない。性交渉などを通じて広がるヒトパピローマウイルス(HPV)の持続感染が主な原因。	50~60歳代の発生率が高い。初期症状は不正性器出血がある。女性ホルモンの増加や肥満、高血圧などの関連があるようだが、詳しい原因は不明。

*子宮がん危険度チェック! ***チェックがついた項目が多いほど危険性が高くなります***

頸がん・体がん共通	頸がん	体がん
<input type="checkbox"/> 月経時以外の出血がある <input type="checkbox"/> 茶褐色、黒褐色のおりものが増える <input type="checkbox"/> 性交時に血性のおりものがある <input type="checkbox"/> 子宮がん検診を受診していない	<input type="checkbox"/> 性活動が活発である <input type="checkbox"/> 性交渉の相手が多い <input type="checkbox"/> 妊娠・出産の回数が多い <input type="checkbox"/> 喫煙の習慣がある	<input type="checkbox"/> 閉経している <input type="checkbox"/> 卵巣ホルモンだけのホルモン補充療法を行っている <input type="checkbox"/> 子宮内腫瘍増殖症がある <input type="checkbox"/> 無月経、排卵異常など月経が不規則である <input type="checkbox"/> 妊娠や出産の経験がない <input type="checkbox"/> 肥満、糖尿病、または高血圧である

*子宮頸がんは町の集団検診で受けられます

20~30歳代で子宮がんにかかる人が増えています。妊娠・出産にも影響してきますので、若いうちからの予防が大切です。この機会に1~2年に1度は子宮がん検診を受けるようにしましょう。

●平成19年度子宮がん検診日程

日 程	受付時間	場 所
9月3日・4日・5日・6日・7日	午後0:30~午後1:00	常北保健福祉センター
10月5日・31日		桂公民館

★子宮がん検診を希望する方は健康福祉課までご連絡ください。また、子宮がん検診について不安や悩みごとがある方は、ご相談ください。保健師がていねいに対応します。

連絡・相談先 ◎ 健康福祉課(常北保健福祉センター内) ☎029-240-6550

ゲンキ城里★ぴっく・あっぷ!!

今月のぴっく・あっぷは「集団保健指導」です。

集団検診の待ち時間を活用して、保健師が乳がんの自己触診方法についてわかりやすく指導しています。

自分で乳房にしこりを見つけて、乳がんと診断されるケースもあります。検診も大切ですが、健康管理の一環として正しい自己触診方法を身につけましょう。



■「つどいのひろば」8月の予定……8月1日・21日(保育士)、23日(助産師)

次回のまごころ通信のテーマは「子どもの救急法」です。